

CASIO

IDC-800J/IDC-850J

取扱説明書

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

本機の特長

- 電波時計（国内2局対応自動選局機能付）
福島県「あおたかどや山」（40kHz）
佐賀県と福岡県の境「かねね山」（60kHz）
- 電波受信機能のオン／オフ切り替え
- 1か月カレンダー表示
- 六曜表示／六曜サーチ
- 西暦／元号表示
- センサーにより、温度・湿度を表示
- 生活環境お知らせ機能

安全上の注意

絵表示について
本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようにになっています。

△ 危険 死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。

△ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

△ 注意 軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例

- △記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
- 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。
- 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。

警告

袋をかぶらない、飲み込まない

- 本機が入っていた袋をかぶったり、飲み込んだりしない。
窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電池について

- 電池から漏れた液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す。
目に入った場合は、失明などの恐れがあります。洗い流した後、すぐに医師の診察を受けてください。
- 乳幼児の手の届く所に電池を置かない。
お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

設置場所について

- 次のような場所に置かない、使わない。
火災・感電の原因となります。
 - 湿気やほこりの多い場所
 - 台所や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所
 - 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

- 保管方法について
長期間ご使用にならないときは、汚れや水分をふき取り、電池を取り出して保管してください。

- 静電気の影響について
静電気の影響を受けて、誤動作することがあります。

- 極度に強い静電気は、本機の電子部品を破損することがあります。

- 液晶の点灯していない部分に、一時的にじみ現象が発生することがあります。

- 電源について
電池が消耗すると、下記のような誤動作が起こります。この場合は、長時間放置せず、速やかに新しい電池と交換してください（定期的な交換をおすすめします）。

- 時刻がずれたり、リセットされたりする

- 液晶表示の表示濃度が薄くなる

- 液晶表示が消える

- 報音が停止する

- 正常に動作していても、1年に1回は電池を交換してください。消耗した電池を使い続けると、漏洩が発生する場合があります。

- お買い上げ時に付属している電池は、充電式ではありません。絶対に充電しないでください。

- 付属の電池は、時計の機能や性能をチェックするためのモニター用電池です。

- 付属の電池は、お客様がお買い上げになるまでの期間に消耗します。取扱説明書などに記載されている電池寿命に満たない場合があります。また、電池交換は保証期間内でも有料となります。

- 電池が液漏れを起こした場合は液に触れずにすぐにふきとっください。

- 液晶表示について
温度が0°C～40°Cの範囲を外れる場所では、表示が見にくくなることがあります。

- 見る方向によって、表示が見にくくなることがあります。

- 電波受信について
本機が受信できる電波は「日本の標準電波だけ」です。ただし、日本以外の地域で使用している場合でも、まれに日本の標準電波を受信して自動的に日本の時刻に修正することがあります。日本以外の地域でご使用になる場合は、本機の電波受信機能をオフ（電波受信の動作を行わない状態）にしてください。

- センサーなどの計測機能について
測定値は目安としてご利用ください。

- お手入れについて
汚れは、「乾いた柔らかい布」か「中性洗剤に浸し固くしぼった布」でおふきください。シンナー・ベンジンなどの揮発油やアルコール類では絶対にふかないでください。

- 電池や本機の廃棄について
お住まいにされている地区自治体の指示にしたがって廃棄してください。

- 免責事項について
万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

注意

電池について

破裂による火災・けが、液漏れによる周囲の汚損を防ぐため、次のことは必ず守る。

- 分解しない、ショートさせない
- 充電しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 種類の違う電池を混ぜて使わない
- 加熱しない、火の中に投入しない
- 本機で指定されている電池以外は使わない
- 極性（+と-の向き）に注意して正しく入れる
- 長時間使用しないときは、本機から電池を取り出してください
- 電池が消耗した場合は、速やかに電池を交換する

- 電池が液漏れしたまま使用しない。

- 火災・感電の原因となることがあります。すぐに本機の使用をやめて「修理に関するお問い合わせ先」に連絡してください。

- 長く伸ばした爪で電池の着脱をしない。

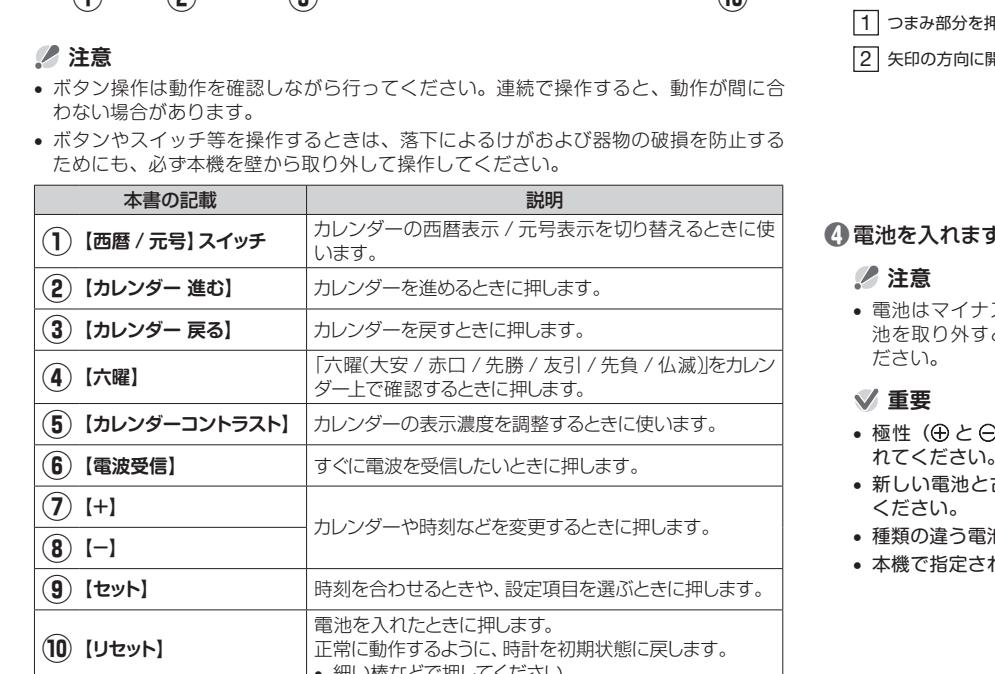
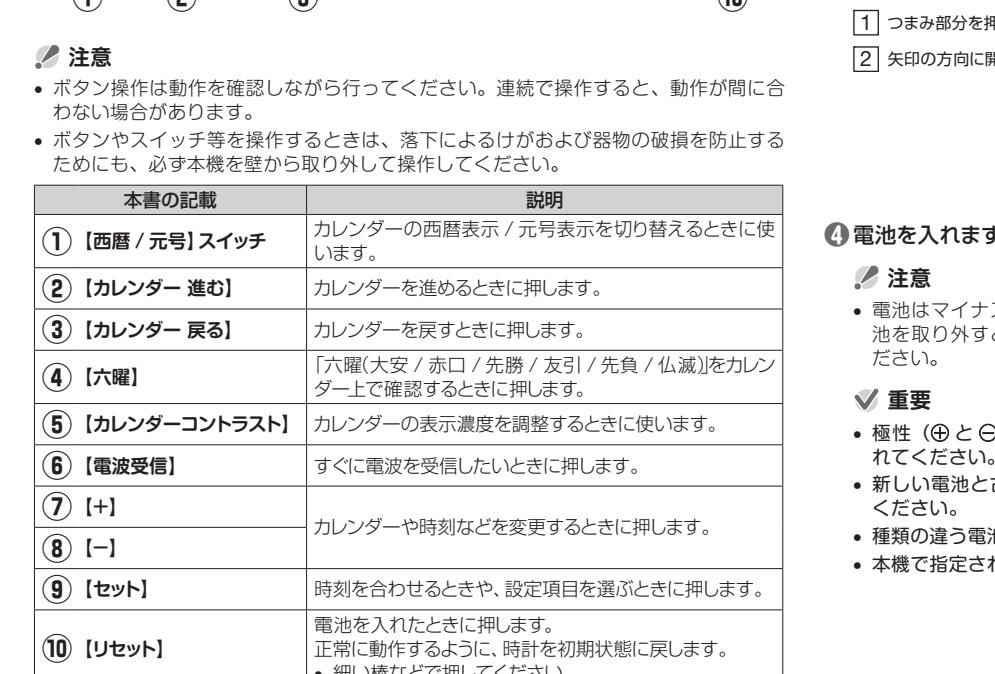
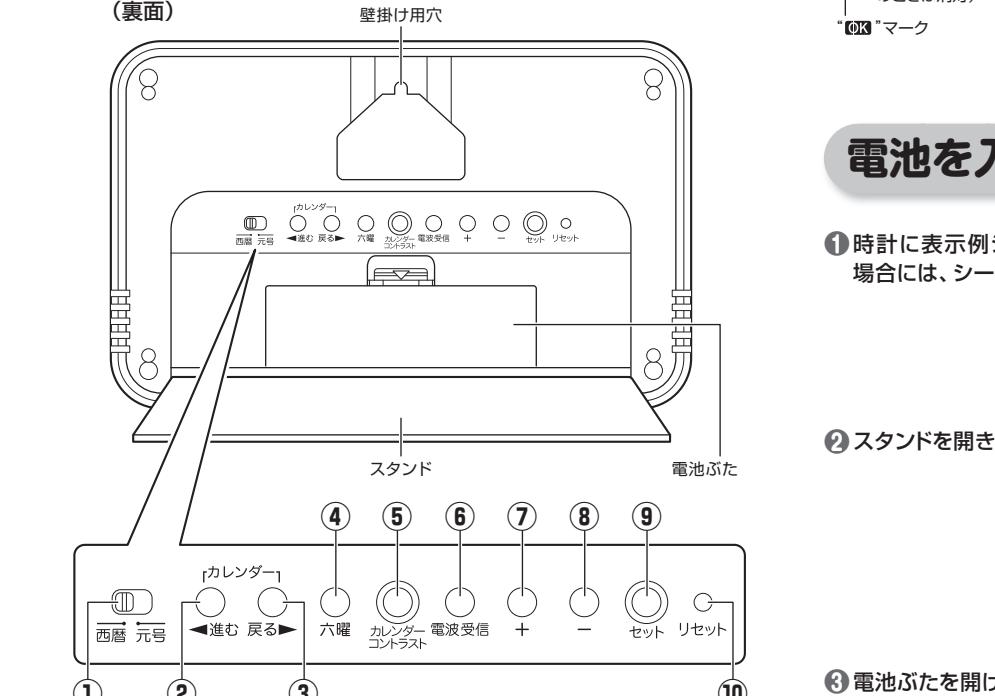
- けがの原因となることがあります。

使用上の注意

各部の名称

●本書に記載している時計のイラストは操作説明用です。実際の製品とは異なることがあります。

表示について



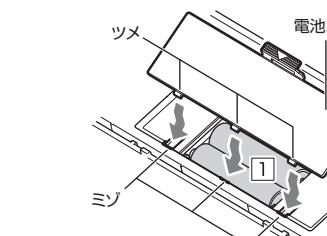
●本書の記載

- ①【西暦／元号】スイッチ カレンダーの西暦表示／元号表示を切り替えるときに使用します。
- ②【カレンダー 進む】 カレンダーを進めるときに押します。
- ③【カレンダー 戻る】 カレンダーを戻すときに押します。
- ④【六曜】 「六曜（大安／赤口／先勝／友引／先負／仏滅）」をカレンダー上で確認するときに押します。
- ⑤【カレンダーコントラスト】 カレンダーの表示濃度を調整するときに使用します。
- ⑥【電波受信】 すぐに電波を受信したいときに押します。
- ⑦【+】 カレンダーや時刻などを変更するときに押します。
- ⑧【-】 カレンダーや時刻などを変更するときに押します。
- ⑨【セット】 時刻を合わせるときや、設定項目を選択するときに押します。
- ⑩【リセット】 電池を入れるときに押します。
正常に動作するように、時計を初期状態に戻します。
・細い棒などで押してください。

表示について

6 電池ふたを閉めます。

- ツメを本体のミンにあわせて
- 矢印の方向に閉める



1 時計を掛けます。

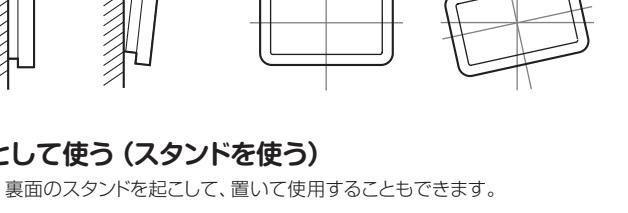
- 掛けた後、時計を上下左右、手前へ動かして、しっかりと掛けていることを確認してください。
- しっかりと掛けていないと、時計が落としてしまうのが故障の原因となることがあります。
- 水平位置も正しく合わせてください。



2 【リセット】を細い棒などで押します（リセット操作）。

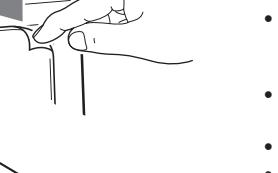


3 時計を設置する場所の近くに置きます。

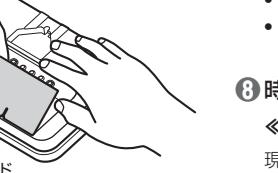


電池を入れて設置する

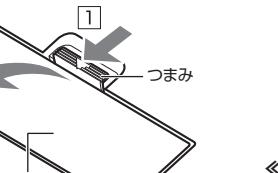
1 時計に表示例シールが貼ってある場合には、シールをはがします。



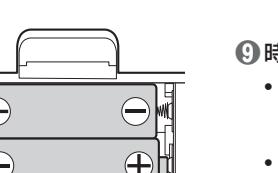
2 スタンドを開きます。



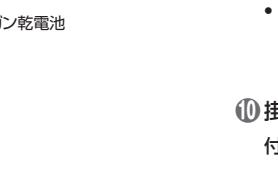
3 電池ふたを開けます。



4 電池を入れます。



5 時計を設置する場所で、電波を受信できるかどうかを確認します。



6 電波を受信できなかったとき



7 電波を受信できたかどうかを確認します。



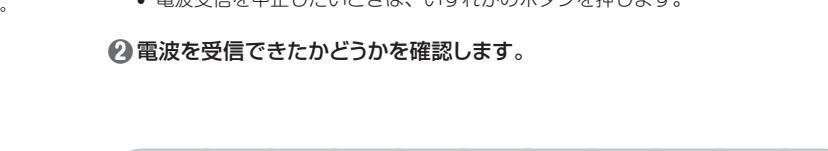
ボタンを押して電波を受信する

1 電波受信】を押すと、受信を開始します。

△ 注意

- 電波受信が終了するまで、時計はならないください。
- 電波受信が終了するまで、約16分かかります。
- 電波受信を中止したいときは、いずれかのボタンを押します。

2 電波を受信できたかどうかを確認します。



電波を受信できないときは

1 一昼夜、時計をその場所に置いておきます。

※一昼夜、時計をその場所に置いておきます。

※電波が受信できなかった場合でも、夜間に受信できることがあります。

※電波の状況は、周囲の地形や建物、季節、天候、時間帯（夜／日など）で変化します（電波時計について）。

2 定期的に、窓際などの電波を受信できる場所に時計を持ち、ボタンを押して電波を受信する（参考）。

※手動で時刻などを修正します（「ボタンを押して時刻などを修正する」参考）。

※この場合の時計の精度は、「製品仕様」に記載している「電波受信による時刻修正ができる場合」の精度になります。

3 時計の設置場所を、電波を受信できる場所に変更します。

※事前に、電波受信のボタンを押して電波を受信する（参考）。

※事前に、電波受信のボタンを押して電波を受信する（参考）。

4 事前に、電波受信のボタンを押して電波を受信する（参考）。

※事前に、電波受信のボタンを押して電波を受信する（参考）。

5 時計の設置場所を、電波を受信できる場所に変更します。

※事前に、電波受信のボタンを押して電波を受信する（参考）。

6 市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

※市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

※市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

※市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

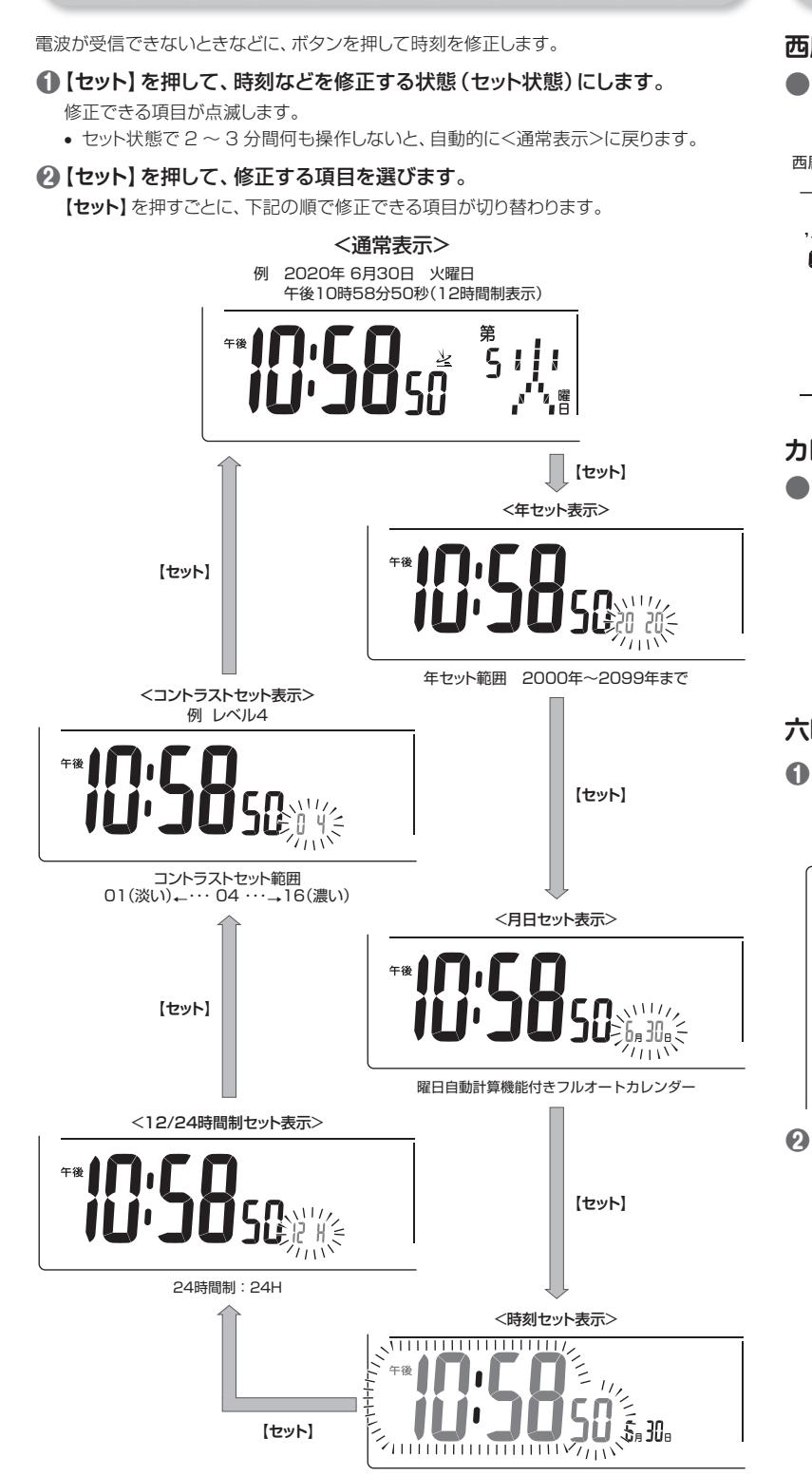
※市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

※市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

※市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

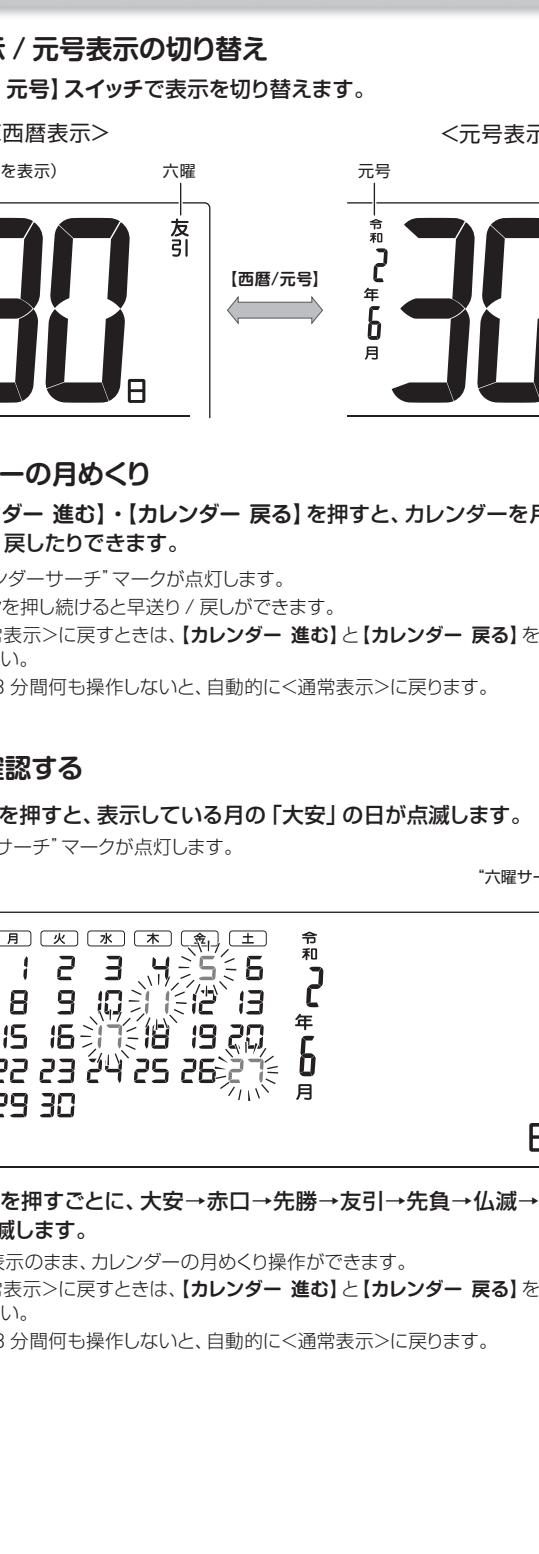
※市販の掛け具をご使用になる場合は、使用する掛け具の取り付け方法にしたがってください。

ボタンを押して時刻などを修正する



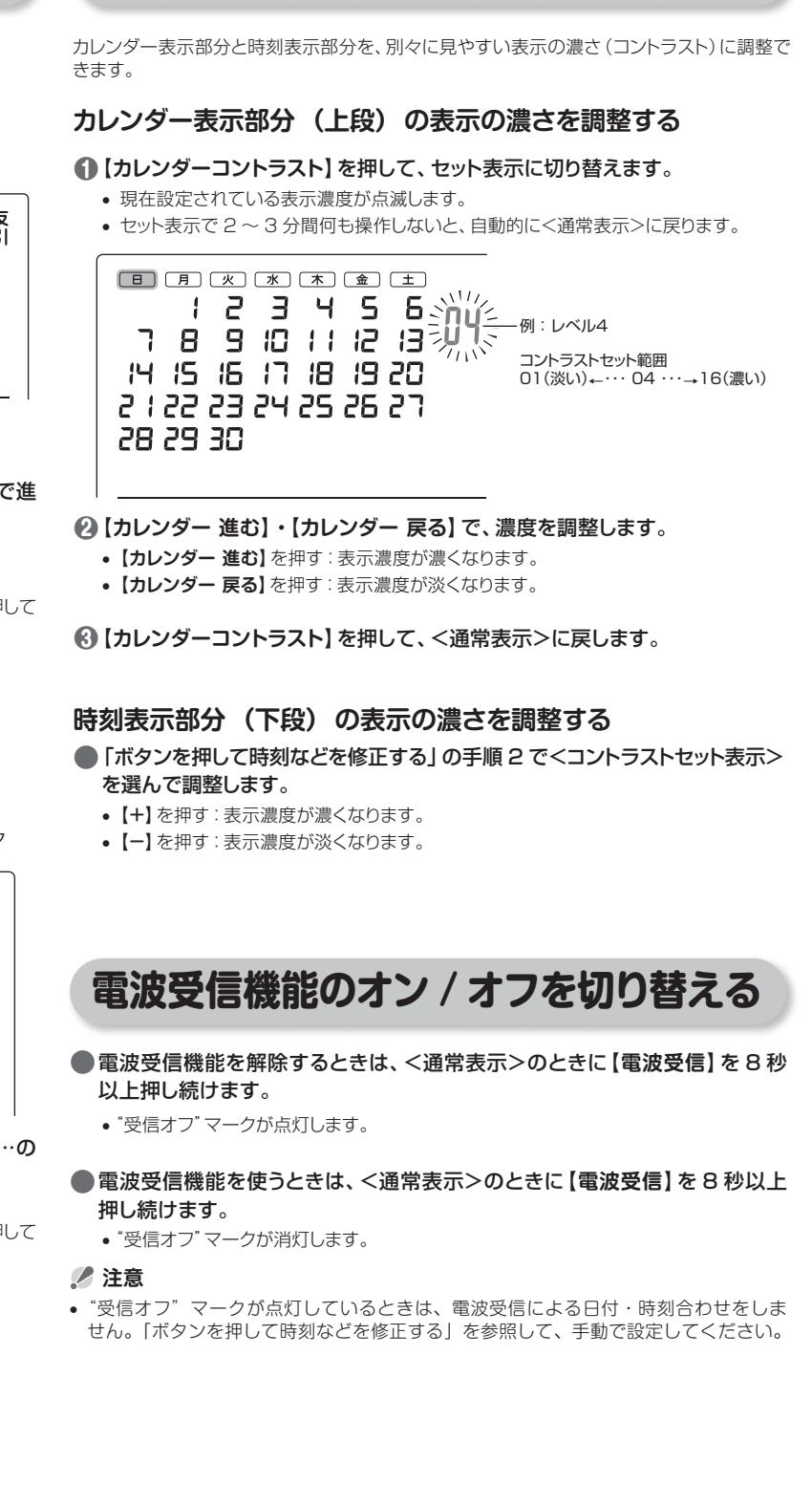
- ③ [+] または [-] を押して、年月日や時刻などを修正します。
<年セッタ表示>、<月日セッタ表示>、<時刻セッタ表示>のとき
• [+] を押す：点滅個所の数字が進みます。
• [-] を押す：点滅個所の数字が戻ります。
• ボタンを押し続けると早送り/早戻しができます。
<時刻セッタ表示>のとき
• ボタンを押して分を進めた(戻した)タイミングで、「00」秒からスタートします。
<12/24時間制セッタ表示>のとき
• [+] または [-] を押すことに、時刻の表示方法(12時間制/24時間制)が切り替わります。
• 12時間制
午後は「午後」マークが点灯します。
• 24時間制
「24H」マークが点灯します。
④ [セット] を押して、<通常表示>に戻します。

カレンダー機能の使い方



- ① [セット] を押して、時刻などを修正する状態(セット状態)にします。
修正できる項目が点滅します。
• セット状態で2~3分間何も操作しないと、自動的に<通常表示>に戻ります。
② [セット] を押して、修正する項目を選びます。
[セット] を押すごとに、下記の順で修正できる項目が切り替わります。
<通常表示>
例 2020年6月30日 火曜日
午後10時58分50秒(12時間制表示)
10:58 50 第 5 月
午後
[セット]
[年セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 年
午後
年セッタ範囲 2000年~2099年まで
[月セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 月
午後
月セッタ範囲 1月~12月まで
[時刻セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 時
午後
時刻セッタ範囲 00~59分まで
[時刻セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 分
午後
分セッタ範囲 00~59秒まで
[時刻セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 秒
午後
秒セッタ範囲 00~59秒まで
③ [+] または [-] を押して、年月日や時刻などを修正します。
<年セッタ表示>、<月日セッタ表示>、<時刻セッタ表示>のとき
• [+] を押す：点滅個所の数字が進みます。
• [-] を押す：点滅個所の数字が戻ります。
• ボタンを押し続けると早送り/早戻しができます。
<時刻セッタ表示>のとき
• ボタンを押して分を進めた(戻した)タイミングで、「00」秒からスタートします。
<12/24時間制セッタ表示>のとき
• [+] または [-] を押すことに、時刻の表示方法(12時間制/24時間制)が切り替わります。
• 12時間制
午後は「午後」マークが点灯します。
• 24時間制
「24H」マークが点灯します。
④ [セット] を押して、<通常表示>に戻します。

表示の濃さを見やすく調整する



- ① [西暦/元号]スイッチで表示を切り替えます。
カレンダー表示部分(上段)の表示の濃さを調整する
① [カレンダーコントラスト]を押して、セット表示に切り替えます。
• 現在設定されている表示濃度が点滅します。
• セット表示で2~3分間何も操作しないと、自動的に<通常表示>に戻ります。
② [セット] を押して、修正する項目を選びます。
[セット] を押すごとに、下記の順で修正できる項目が切り替わります。
<通常表示>
例 2020年6月30日 火曜日
午後10時58分50秒(12時間制表示)
10:58 50 第 5 月
午後
[セット]
[年セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 年
午後
年セッタ範囲 2000年~2099年まで
[月セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 月
午後
月セッタ範囲 1月~12月まで
[時刻セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 時
午後
時刻セッタ範囲 00~59分まで
[時刻セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 分
午後
分セッタ範囲 00~59秒まで
[時刻セッタ表示]
例 レベル4
10:58 50 秒
午後
秒セッタ範囲 00~59秒まで
③ [+] または [-] を押して、年月日や時刻などを修正します。
④ [セット] を押して、<通常表示>に戻します。

温度・湿度の表示と生活環境お知らせ機能



- カレンダー表示部分と時刻表示部分を、別々に見やすい表示の濃さ(コントラスト)に調整できます。
温度と湿度の計測データをもとに部屋の状態を分析して、5つのアイコンでお知らせします。
注意が必要な環境になると、4種類の注意アイコンが点灯または点滅して、注意のレベルを2段階でお知らせします。
アイコン点灯：注意
アイコン点滅：さらに注意
計測機能について
専門的な計測器ではありません。特に湿度計測につきましては、環境温度によって精度に開きがあります。計測機能は、目安としてお使いください。
温度表示 湿度表示 注意アイコン点灯
33.5 54 %
注意
• アイコンは、手動で点灯/消灯できません。各アイコンの設定範囲から外れると、自動的に消灯します。
• アイコンが何も点灯しない場合があります(快適とはいえないが、注意アイコンは点灯しない環境です)。
各アイコンの意味と説明

アイコン	意味	説明
	快適な状態	原則として、温度20~28℃・湿度40~60%の範囲のとき、表示されます。ただし、注意アイコンが点灯する環境では消灯します。
	「風邪引き」注意	風邪ウイルスが活性化しやすい環境のとき、表示されます。
	「乾燥肌」注意	肌乾燥(荒れ)に注意が必要な環境のとき、表示されます。
	「カビ・ダニ」注意	カビ・ダニが発生しやすい環境のとき、表示されます。
	「熱中症」注意	熱中症になりやすい環境のとき、表示されます。

• お知らせアイコンは、一般財団法人日本気象協会との共同企画で開発しています。

• 一般財団法人日本気象協会では生活に密着した気象情報を提供しています。詳しくはホームページ <https://tenki.jp/> をご覧ください。

• お知らせアイコンは、あくまで自安としてご使用ください(各お知らせアイコンが点灯または消灯している場合、安全性を保証するものではありません)。

• 万一、本機能により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社同様一般財団法人日本気象協会でも一切その責任を負いません。ご使用の際は利用者の責任においてご使用ください。

◆ 使用電池について

本機は、マンガン乾電池の特性に合わせて設計されています。アルカリ乾電池は使用できますが、マンガン乾電池と同様に1年に1回は電池を交換してください。電池寿命が短くなってしまい、そのまま使用を続けると、電池の液漏れの原因となる場合があります。

• 充電式電池は、使用しないでください。初期電圧が低く、電池の特性が合わないため、使用すると本機が正常に動作しない、または電池寿命が極端に短くなる場合があります。

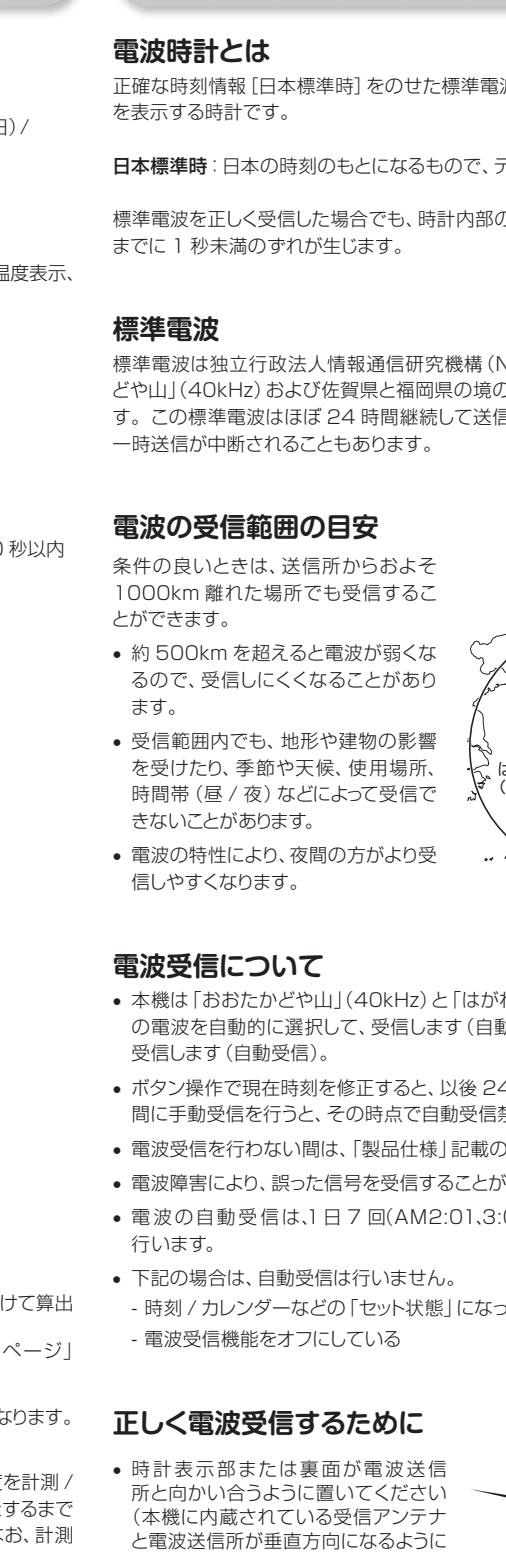
改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

◆ 使用場所について

本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをお勧めします。

• ビルの中およびその周辺
• 乗り物の中
• 家庭電化製品、OA機器、携帯電話などの近く
• 事務現場、飛行場など電波障害が起きる場所
• 高速線の近く
• 山間部、山の裏側

電波時計について



- 電波時計とは
正確な時刻情報を「日本標準時」を用いた標準電波(JJJY)を受信することにより、正しい時刻を表示する時計です。
- 日本標準時：日本の時刻のものになるもので、テレビの時報などに利用されています。
- 標準電波を正しく受信した場合でも、時計内部の時刻演算処理などによって時刻を表示するまでに1秒未満のずれが生じます。
- 標準電波
標準電波は独立行政法人情報通信研究機構(NICT)が運用しており、福島県の「おおたかどや山」(40kHz)および佐賀県と福岡県の境の「はがね山」(60kHz)から送信されています。この標準電波はほぼ24時間継続して送信されていますが、保守作業や雷対策などで時送信が中断されることもあります。
- 電波の受信範囲の目安
条件の良いときは、送信所からおよそ1000km離れた場所でも受信することができます。
• 約500kmを超えると電波が弱くなるので、受信しにくくなることがあります。
• 受信範囲内でも、地形や建物の影響を受けたり、季節や天候、使用場所、時間帯(昼/夜)などによって受信できないことがあります。
• 電波の特性により、夜間の方がより受信しやすくなります。
- 電波受信について
• 本機は「おおたかどや山」(40kHz)と「はがね山」(60kHz)の2局より受信しやすい方の電波を自動的に選択して、受信します(自動選局機能)。通常は毎日、自動的に電波を受信します(自動受信)。
• ボタン操作で現在時刻を修正すると、以後24時間自動受信は行いません。ただし、この間に手動受信を行うと、その時点で自動受信禁止を解除します。
• 電波受信を行わない間は、「製品仕様」記載の精度で計時します。
• 電波障害により、誤った信号を受信することがあります。
• 電波の自動受信は、1日7回(AM2:01,3:01,6:01,10:01,PM2:01,6:01,10:01)行います。
• 下記の場合は、自動受信は行いません。
- 時刻/カレンダーなどの「セット状態」になっている
- 電波受信機能をオフにしている
- 正しく電波受信するためには
• 時計表示部または裏面が電波受信所と向かい合うように置いてください(本機に内蔵されている受信アンテナと電波送信所が垂直方向になるようにする)。
• 金属の上には置かないでください。
• 電波受信できる場所でお使いください(「使用場所について」参照)。
• 受信中(受信インジケーター点灯中)に時計を動かしたりボタン操作をしないでください。
- 使用場所について
本機は、テレビやラジオなどと同様に、電波を受信するものです。本機を使用するときは、「電波を受けやすい」部屋の窓際などでご使用することをお勧めします。

